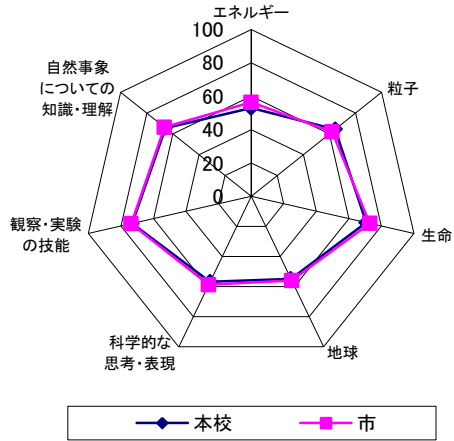


宇都宮市立陽東中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	52.9	56.4	49.9
	粒子	64.4	62.0	57.4
	生命	70.6	72.9	67.1
	地球	54.8	56.0	48.5
観点別	科学的な思考・表現	56.7	58.8	52.1
	観察・実験の技能	73.2	73.8	67.6
	自然事象についての知識・理解	65.7	66.5	61.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	●エネルギーに関しての理解度は市の平均を3.5ポイント下回っているが、参考値よりは3ポイント上回っている。これは、身近なエネルギー資源を有効的に活用する知識に課題があると思われる。	○エネルギー資源の有効活用を考える授業の構成と、計算によって事象を解析する力の育成を目指していくべきと考える。より現実的な課題を設定し、実験を通して証明していく活動を行う指導を目指す。
粒子	○市の平均を2.4ポイント、参考値を7ポイント上回っている。これは、目で見ることの出来ない小さい粒子を考察によってとらえる力が十分に備わっていることと考えられる。イオンのような粒子の中にも電氣的な性質を伴うことも考えられる力をもっている。	・イオンにみられるような性質を伴った粒子を意識し、その実用に向けて具体的に指導していくことで、むだのない技術の革新が期待できる。
生命	●市の平均より2.3ポイント下回っているが、参考値よりは3.5ポイント上回っている。生命の連続性を意識した内容であり、いずれ親となる時に必要な事柄である。全体的には理解に富む状況ではあるが、今後、命についてより深い知識を望む。	・遺伝の内容は生命の基本であるので、しっかりとした知識が必要である。また、命を見つめ直すことでより深い洞察力が養える。いかなる時にも命の大切さに触れ授業を展開していきたい。
地球	●市の平均を1.2ポイント下回っているが、参考値からは6.3ポイント上回っている。惑星の名前を覚えることは得意だが、それぞれの天体の運動が定期的に変化するといった、シュミレーションを意識した内容には課題がある。	・宇宙といった広い世界の事象も地球を取り巻く自然環境の一つととらえ学習する必要がある。また、宇宙空間では定期的に天体の見え方がかわり、地球と太陽との位置関係に依るところが大きいことも感じさせたい。年間を通して、その季節に応じた星座や太陽の運動を指導していくことが必要である。また、太陽系以外にも無数の天体が存在し、考え方を広くすることも必要である。

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの